

令和4年度 奈良県立畝傍高等学校
第1回学校運営協議会 議事録

令和4年7月12日(火)
14:00~16:00

1 学校長挨拶

2 委員および事務局自己紹介

委員9名(1名欠席) 事務局3名(1名欠席) 分掌長等7名 出席者 19名

3 会長・副会長選出

4 審議事項

- ①学校運営協議会会則について
- ②スクールミッション、スクールポリシー、学校評価総括表について
- ③本校の学習指導、進路指導、生徒指導について
- ④全日制課程 研究開発学校について
- ⑤令和5年度教科書採択について

<審議の中でいただいたご意見>

- ・校訓の内容を、学校の教育に是非生かしてほしい。
- ・学校評価について、年度途中で中間評価をしてはどうか。
- ・学校評価の項目で出前授業の充実とあるが、回数だけでなく、生徒の満足度や参加率も評価に加えてはどうか。
- ・学校評価の項目で、留学生徒数の目標値が低いのでは。多くの生徒が海外に目を向け、留学してほしいと考える。同窓会も費用面で援助する。
- ・定時制の生徒は様々なバックグラウンドを持って学校生活を送っているとの説明を受け、学校評価や数値でみるより、心の解きほぐしなどに重点を置いた指導をお願いしたい。
- ・学校に寄せられる苦情として「登下校時に横断歩道や細い路地で広がって歩いている」等と聞いたが、学校の近隣に住んでいて、スマホを見ながら歩いている生徒がかなりいることも問題だと思う。お年寄りや小さな子供に危害を加えたりすることや、怪我をさせたら自分もいやな思いを引きずることもあることを生徒に気づかせ、考え直すように指導してほしい。
- ・スクールカウンセリング制度の活用について、相談しやすいような雰囲気を高めるための周知を進めていただきたい。
- ・18歳の選挙権に関わって、進路指導の集会の時に自分たちの将来のためにも投票に行くよう呼びかけたり、公民の授業で参議院選挙の制度について取り上げたりして、外国籍の生徒に配慮しながら指導していると説明を受けたが、若者が自分事として捉えることができるよう、引き続き指導をお願いしたい。
- ・学校から丁寧な報告や説明を受けている。育友会活動を通して保護者に伝えるよう考えながら活動を行っている。
- ・研究開発学校の取組では、探究的な学びの体制作りという点で、地域として連携協力していきたい。
- ・育友会で、春に開催された課題研究発表会を見学した。とてもよかったと感じた。機会があれば保護者、地域の方にも、見学する機会を提供してほしい。

⑥その他

(各委員より)

- ・学校運営協議会は関係する皆で学校を支援していこうということが趣旨の1つ。学校の活動のためにできることを、最大限支援していきたい。
- ・子供がよい学びをできてよかった。よい学校に入れてよかった。生徒、保護者ともに、よかった、素敵な学校であると思えるような学校であり続けてほしい。
- ・定時制が県南部で唯一という存在意義を踏まえ、何らか携われるように考えていきたい。
- ・学校運営の内容を聞き、新鮮であった。総合的な探究の時間に興味を持った。先を見据えた探究は時間がかかるものであるが、奈良県についての探究、橿原市、明日香村など日本文化発祥の地に目を向けた探究にも期待したい。
- ・探究に興味がある。今、子供がテーマ選びで苦勞している。昨年の発表を聞いて素晴らしいと思った。次につながる広がりを持っているところがすごい。「調べてわかった」で終わるようにならないことを願う。
- ・実際にどのような教育をしたかということが重要であるから、この会議で聞かせてほしい。
- ・学校評価総括表が数値化されていることで評価しやすい。
- ・子供が在学中に役員をしていたが、今後も学校のためになるようなアドバイスをしていきたい。
- ・留学生の交流や探究活動への参加などで、学校からも協議会メンバーに遠慮なく相談してほしい。

6 事務局より連絡

次回の学校運営協議会は、11月初旬に、授業参観していただいた後に開催を計画している。一人一台端末を持った授業も見学してもらえると考えている。課題研究の発表会は2月の土曜日となっているが是非ご参加いただきたい。

7 学校長挨拶

「楽しい学校」であり、生徒を大事しながら「本物に出会える学校」でありたい。学校のなかだけでは体験できない機会を作っていきたい。いろいろご支援をいただいているが、学校運営協議会からもご意見やご支援をいただきたい。

【運営協議会の様子】

